

キャラクター名
夜久 互-ヨルサタル-

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ウロボロス	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	探偵
オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	探求	衝動	嫌悪	初期侵食率	34 %
出自	一般家庭	経験	夢	邂逅	(欲望)世界を築く

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	0	0			1	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	5	1	0			6	戦闘移動	8
社会	1	0	0			1	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ツツカ	白兵	1r-5	8	16		侵食率2で命中判定前にD+肉体できる

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ブレンダー「古いノート」	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	消費
装着者-アイテムユーザー	P	N	
狗雷マリ	P 尽力	N 猜疑心	
シナリオ中に決める	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
原初の黄:空間圧縮	1	2	セット	視界	単体		シナLV	
効果: 戦闘移動 基本+3								
急所狙い	1	2	メジャー	武器	白兵			
効果: 攻撃力+LV*2								
C:ノイマン	2							
効果: C値-LV 戦闘用に頭脳を切り替えよう								
コントロールソート白兵	1	2	メジャー	武器	効果参照	対決		
効果: 精神で攻撃。急所さえ狙えれば力なんていらぬ								
コンバットシステム白兵	3	3	メ/リ					
効果: 判定ダイス+(1+LV)								
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100	
効果: 対象判定後達成値LV*3 R1回								
破壊の渦動	1	5	オート	至近	自身	自動	シナLV	
効果: HP1点でも与えたらシーン中装甲無視								
フェイタルヒット	3	4	オート	至近	自身	自動	100%	
効果: DR直前D+LVD R1								
EMリバースガーディアン	1			シーン				
効果: バディムーブ: R1 仲間判定後+3								
構造看破	★							
効果: つくりを見れば中身もわかる								
プロファイリング	★							
効果: 持ち物やしぐさから人となりもわかる								
効果:								
効果:								
効果:								

「ジョン・フォン・ノイマン」数学・物理学・工学・計算機科学・経済学・気象学・心理学・政治学に多大な影響を与え、移民でありながら、病床の上で、国の中枢のお偉い方に惜しまれ看取られる最期となった。彼は、国や人種の垣根も超えて、一人の人間として必要とされるだけの頭脳を持っていた。有名どころで言うと原子爆弾やコンピュータの開発なんかだとすると、その頭脳がとびぬけていたことがわかるかな。そんな彼から名をとった「ノイマン」という分類である自分が、人とは違った価値観を持っているのは必然とも言っているのではないだろうか。

僕のことを話そうか。僕は、昔UGNチルドレンをやっていたんだよ。驚くことでもないだろう？16年前に設立してから今現在に至るまで、UGNに嫌気がさしてFHにきた者は数多くいるのだから。僕もその大勢のうちの一にすぎないのさ。彼らは世界の守護者を名乗っているが、その実ジャームどころかレネゲイドの存在すら隠そうとしている組織だ。持っている力・知識を経て人間の文明は発達してきた。隠したところで僕らオーヴァードが持っている力は変わらない。であればその力を有効活用できるよう公開するのが筋だと思うのだけれど...彼らは保守的すぎるくらいがあるようだね。在籍していたころの僕は身寄りがなく、たまたま拾われたところがUGNだったけれど、オーヴァードの世界の仕組みを理解してからは、どうやって組織を抜けて身を立てるかということばかりをかんがえていたね。たまたまその機があって、FHに所属しているというわけさ。ここの方が水が合うね。けれど、組織だ。命令に従わざるを得ないこともある。あまりに意に沿わないことを命じられたら、次の宿り木を探さないといけないと考えているところさ。まあ、今のところは大丈夫だけだね。将来はノイマンの名に恥じないよう、オーヴァードの力が非オーヴァードにも便利に扱えるような理論を確立していきたいものだね。そのために、障害があれば取り除くのは当然のことだろう？

・背が小さいことにコンプレックスはないが、不便であるとは考えている

SecondarySerenade
N/ハンドアウトPC①
ワークス/カヴァー: FH関係者/指定なし
ロイス: 狗雷マリ